



「白神ねぎ」を買い求める台湾消費者

異国の地「台湾」での人気好調!

秋田銀行グループの地域商社「詩の国秋田」(伊藤晋宏代表取締役)と行政機関の協力を得て、8月から輸出されている「白神ねぎ」。

9月23日から4日間はBreze Super(百貨店)(台北市)、10月1日から2日間はMia C. bon(台北大葉店)(台北市)のいずれも高級スーパーで販売イベントが実施されました。今回のイベントまでに750kg(150ケース)が輸出されており、「白神ねぎ」が台湾市場で評価を頂いていることを受け、12月まで輸出が継続できる見通しが立ったことから、更なる認知度獲得のため販売イベントが実施されました。

「白神ねぎ」も10月からは『夏ネギ』から『秋冬ネギ』へシフトチェンジ。20億円販売必達に向けてラストスパートです。

令和4年産米の品質検査スタート!

品質鑑定資格を持ったJA職員らが、9月21日から令和4年産米の初検査を各農業倉庫、カントリーエレベーターで開始され、玄米の形や色、水分量などを念入りに確認しました。

9月末時点での集荷状況は28,965俵で、一等米比率は94.0%と上位等級でのスタートをきることが出来ました。

検査結果を確認した生産者は「今年の稲刈りは倒伏してしまつて、いつも以上に作業に時間がかかつてしまつた。検査結果では等米に格付けされて、ひとまず安心。残りの圃場も適正な乾燥調整作業を心がけて頑張りたい」と話してくれました。

JA販売課では令和4年産米の集荷目標は241,000俵としており、適期刈取りに注意し、1俵でも多く出荷を求めています。



粒の大きさや水分量などを検査するJA職員



本採用の辞令を受け心新たに令和4年度新採用職員

新採用職員に辞令交付。Re:start!

10月3日に今年度採用された5人に試用期間を終えたことから、本採用の辞令書が佐藤組合長から交付されました。

佐藤組合長は「この半年間新しい体験を通じ、新しい人とのつながりができ、新しい発見もあったと思う。この時を忘れることなく心に残しておいてもらいたい。これから心強くもって一歩一歩頑張ってもらいたい」と激励。

辞令書を受け取った生活課の松橋海奈さんは「周りの先輩や時には組合員の皆さまから一つ一つの業務を教えてもらい、ご迷惑をおかけしながらも日々進んでおられますが、徐々に仕事にも慣れ始め自ら進んで業務に取り組み始めるようになってきました。初心忘れず業務を楽しみながら頑張っていきたい」と意気込みます。

能代第四小野球クラブ惜敗

児童の体力向上と健全なスポーツ精神の育成を目的とした、第20回JA共済学童野球大会が9月24日と25日の2日間、わたって秋田市で開かれ、県内13JAの代表校が熱戦を繰り広げました。

当組合からは、7月の予選で全県大会への切符を手にした、能代第四小野球クラブが出場しました。初戦は沼館レッドソックス(JA秋田ふるさと)と対戦。試合は先攻の能代第四小野球クラブが初回に先取点を獲得するも、その裏に逆転され2回にも追加点を奪われるなど、苦しい展開に持ち込まれました。能代第四小野球クラブも3回に2点を奪い返すなど追いつきましたが、相手投手を打ち崩すことができず7対3で敗れ、惜しくも初戦突破とはなりません。



仲間たちと楽しく白球を追い続けました



みんな日に日に絵手紙が上手になってきました!



「下手でもいい、下手がいい」絵手紙サークル出前講座

二ツ井小学校で、囲碁や百人一首など7種のクラブから児童が進んで学ぶ機会として行われている「正課クラブ」の授業において、「絵手紙クラブ」を選択した児童24人を対象に、当組合の「絵手紙サークル」のメンバー3人が講師役となり出前講座が定期的に行われています。

「絵手紙サークル」は、くらしの活動の一環で、趣味の充実と地域住民との交流などを目的に、JA女性部員以外も気軽に参加でき、毎月1回集まってワイワイ楽しく活動しております。

これまで、絵手紙サークルは7回同校に招かれ講師役を務めており、今回の題材は「ブドウ」や「ナシ」などの秋の食物をテーマに授業がスタート。慎重に下書きをしてから絵手紙に描く児童や、一発勝負で最初から絵手紙に描く児童も。

伊藤大和君(6年)は「絵が下手でも女性部の方々が親切にアドバイスをくれて楽しい。今度能代に住むお婆さんに僕が書いた絵手紙を出してみようかな」と笑顔を見せてくれた。

児童らがこれまで描いた絵手紙の作品は、10月21日から始まる二ツ井町文化祭で展示されます。是非ともご鑑賞ください。



絵手紙サークルから指導を受ける児童

Eコープ商品を使って、Let's Cooking!

組合員、地域住民を問わず交流の場を設けEコープ商品に慣れ親しんでもらうことを目的に、9月20日に本店多目的室で「料理教室」を初めて開催しました。

本誌9月号で参加を呼びかけたところ男女4人が参加。お互いが初対面での料理教室となりましたが、仲まじく和やかな雰囲気です。「料理教室」は行われました。

この日のメニューは、Eコープ商品「ほめられ酢」を使った「ほめられピクルス」と「むしパンミックス」を使った「どら焼き」の2品を調理。



終始楽しく、協力し合って完成させた「ほめられピクルス」と「どら焼き」



不慣れな手つきでも楽しく調理を体験できました!



慣れた手つき調理する女性参加者

参加者の嶋田大輝さんは「普段料理をしないので楽しかった。帰ってからも作ってみたいと思う」と満足の笑顔。

同イベントを企画した生活課桂田主査は「初めての開催となり不安はあったが、参加者からは満足頂けたと思う。親子向けやグループイベントの開催を求めたい意見も頂いたので、今後も、地域交流の場づくりとなる企画を積極的に展開したい」と意欲を見せます。